

達第百六十二號

海軍兵備品會計規程別表中左ノ通改正ス

大正八年十月一日

海軍大臣 加藤友三郎

兵器ノ項兵備品會計官吏欄中「兵器庫庫員」ニ*印ヲ加フ

經營部品ノ項分任兵備品會計官吏及兵備品取扱主任欄中

海防兵隊隊

ノ次ニ「要港部

要港部又ハ要港部附設
要港部附設ヲ加フ

備考第六項ヲ左ノ如ク改ム

本表所定ノ分任兵備品會計官吏、兵備品取扱主任中同職名ノ者二人以上アルトキハ所屬長其ノ一人ニ之ヲ命スヘシ

正 誤

百七十四

海 軍

本年達第百六十號海軍官印規程第一條ノ下「本文」ノ二字ヲ脱ス

大正八年十月一日

海 軍 省 副 官

内令
要
第
一
號

逕第百六十四號

大正六年逕第百三十八號中「七尾」ヲ「穴水」ニ改ム

大正八年十月二日

海軍大臣 加藤友三郎

百七十五

海軍

1804

送第百六十五號

羅遜艦沖風ニ左ノ通信號符字ヲ懸付ス

大正八年十月四日

海軍大臣 加藤友三郎

G Q H X

沖風

百七十六

海軍

1805

逕第百六十六號

大正八年勅令第四百三十三號海軍服制中改正ニ伴ヒ新調又ハ改正スヘキモノノ期限等左ノ通定ム

大正八年十月四日

海軍大臣 加藤友三郎

一、大正八年十一月三十日迄ニ新調又ハ改正スヘキモノ

外套肩章

但シ外套袖章ノ線ハ大正九年三月三十一日迄之ヲ存置スルコトヲ得

軍帽周章 (特務士官、准士官)

飾緒 (機關科將官)

二、大正九年三月三十一日迄ニ新調又ハ改正スヘキモノ

正衣、禮衣及軍衣ノ袖章

軍衣襟章

百七十七 海軍

但シ本期日以前ト雖袖章ヲ改正スルモノハ同時ニ襟章ヲ用ウルヲ要ス

夏衣肩章 (准士官)

二重外套及雨衣ノ襟章

三、大正九年十一月三十日迄ニ新調又ハ改正スヘキモノ

正帽飾章

正肩章

正劍帶及劍帶ノ前章

正衣襟章

四、二重外套上衣、准士官長劍、其ノ他製式ノ改正ヲ要スルモノハ當分ノ箇舊製式ニ依

ルモノヲ用ウルコトヲ得

二重外套ノ下衣ハ新調スルニ及ハス

1806

達第百六十七號

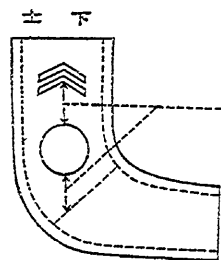
海軍服裝令施行細則中左ノ通改正ス

大正八年十月四日

海軍大臣 加藤友三郎

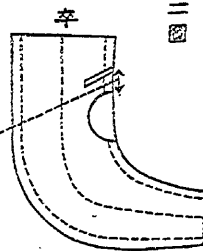
第九條中「茶褐色」ヲ「白色、茶褐色」ニ改ム
第十一條中圖ヲ左ノ如ク改ム

第一圖



此間各ニ指ヲ入ル
文ノ距離ヲ定ム

第二圖



此間ニ指ヲ入ル
文ノ距離ヲ定ム

附 則

本達ハ大正八年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

百七十八

海 軍

1807

達第百六十八號

海軍給與令施行細則中左ノ通改正ス

大正八年十月七日

海軍大臣 加藤友三郎

第八十六條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ被服物品ハ新品ヲ以テ交付交換ス但シ在庫品ノ狀況ニ依リ必要アルトキ及本則第九十三條ニ依ル代品ハ古品ヲ以テ交付交換スルコトヲ得同時ニ新品ヲ交付シタルトキハ先ニ古品ヲ交換ス

第一百五條第二項及第四百七十七條第二項ニ左ノ如ク加フ

尙他所管艦船部隊ヨリ供給ヲ受ケタル艦船部隊ニ於テハ更ニ供給艦船所屬ノ兵備品會

計官吏ニ報告スルモノトス

第七十七條第三項中「麻襟」ヲ削ル

第十一表中襦袢、夏襦袢、靴下ノ項ヲ左ノ如ク改ム

百七十九

海軍

襦	袢	一個	二箇	年	同	上	同	上
夏	襦	袢	一個	九箇	月	夏	季練習中ノ五等卒(四箇月)	九箇月
靴	下	三組	六箇	月	練	習中ノ五等卒(其ノ他ノ者)	三箇月	六箇月
					(其ノ他ノ者)		六箇月	

第十一表備考第五項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ同第七項中「砲術學校練習生及水雷學校水雷術練習生」ヲ「砲術學校、水雷學校、海兵團及防備隊ニ在ル練習生」ニ改ム

北緯二十四度以南、南緯二十四度以北ニ在ル艦船乗組ノ下士卒ニ對シテハ必要ニ應シ雨衣ノ交換ヲ停止スルコトヲ得

第十四表中貸與及準備區別ノ網食器碗食器箸ノ項ニ左ノ一項ヲ加ヘ每一人準備定數ノ機被服類ノ項「個」ヲ「組」ニ改ム

海軍豫備練習生ニハ必要ノ數ヲ準備シ練習期間之ニ貸與ス

第十四表中防寒服ノ部毛織襟巻、帽垂及毛織手袋ノ項ヲ左ノ如ク改ム

一、定員ニ對シ一箇月ヲ準備シ左ノ通貸與ス
 二、古被服等北緯四十二度以北、南緯六十度、南緯四十二度以南、東經一百三十度、西經六十度、北緯六十度、南緯六十度ノ間ニ在ル者、定員ニ對シ一箇月ヲ準備シ左ノ通貸與ス

毛織襟卷	一個	五度以北及鷓子江沿岸ニ在ル織給乗組ノ軍人軍馬 支那及朝鮮ニ在ル部隊勤務ノ下士卒織給乗組人 當番外套ノ付與ヲ受クル下士卒但シ前二項ニ該當スル者ヲ除ク
帽	一個	毛織袴裈ニ同シ
毛織手袋	一組	定員ニ對シ一割ヲ準備シ左ノ通貨與ス 一、毛織襟卷ノ項第一號ニ同シ但シ本則第八十五條ニ該當スル者ヲ除ク 二、海水浴用者

第十四表中貸與及準備區別ノ欄防蹇服ノ部毛織袴裈、フリンネル袴下ノ項「毛織襟卷ノ項第一號」ノ下ニ「准士官以上ヲ除ク」ヲ、同欄防蹇服ノ部半長靴ノ項「毛織袴裈ニ同シ」ノ下ニ「准士官以上ヲ加フ」

第十七表中品質製式ノ欄下士卒^{軍樂員}ノ部軍衣、夏衣ノ項及同欄軍樂員ノ部禮衣、夏衣ノ項ニ左ノ如ク加フ

鈕釦縫着ノ位置ハ縁端ヨリ八分トシ鈕釦止程ヲ覆フ裏布ヲ付ス

第十七表中品質製式ノ欄下士卒^{軍樂員}ノ他ノ部半靴、當番手袋ノ項ヲ左ノ如ク改メ在監人ノ部前掛ノ項紐長「二尺八寸」ヲ「三尺一寸」ニ改ム

百八十
海軍

半靴	黒本綿紐ヲ附ス	十二文半 十二文 十一文半
當番手袋	毛織手袋ニ同シ	十一文 十文半 十文

第十七表附圖中記號、貨品記號、雨衣、衣囊記號ノ「製造年月」ヲ「製作年月」ニ、下士卒及軍樂員袴裈ノ「袖口鈕釦及鈕釦穴二個」ヲ「一個」ニ改メ同後襟鈕釦並中著襟前兩下端ノ鳩目ヲ削リ鳩目ニ代フルニ長五寸ノ紐ヲ付シ患者股引ノ股明キ「六寸」ヲ「八寸五分」ニ改ム

第十九表ノ二乙ノ項中「候補生」ノ下「及文官」ヲ削ル
第二十表備考ニ左ノ二號ヲ加ヘ第十二號中「四十五匁」ヲ「五十匁」ニ改メ同第十七號中「週額品」ノ下ニ「漬物」ヲ加フ

三十一、一週一回限り生乾麵又ハ米麥食ニ換ヘ乾麵四十五匁ヲ給スルコトヲ得
三十二、一月一日、二日、三日ノ三日間一食宛ニ限り麵食又ハ米麥食ニ換ヘ餅六十匁ヲ給スルコトヲ得

第二十一表中交換品目及全量額ノ欄生麵乾麵乾麵ノ項ニ「乾麵四十五匁」ヲ、白米ノ項

ニ「乾鰓鮓三十四匁」ヲ、割麥ノ項ニ「乾鰓鮓十一匁」ヲ、貯藏獸肉骨付生獸肉ノ項ニ「鹽
 魚肉四十匁」「鹽豚肉三十匁」ヲ、貯藏魚肉骨付生魚肉ノ項ニ「鹽豚肉二十匁」ヲ加ヘ交換
 品目ノ欄貯藏獸肉骨付生獸肉及貯藏魚肉骨付生魚肉ノ項「無骨鹽獸肉」ヲ「無骨鹽生肉」ニ
 改メ全量額ノ欄貯藏獸肉骨付生獸肉ノ項燻獸肉「二十七匁」ヲ「三十匁」ニ、貯藏魚肉骨付
 生魚肉ノ項燻獸肉「十八匁」ヲ「二十匁」ニ改メ備考ニ左ノ如ク加フ
 五、陸上演習行軍中味噌汁ヲ供食スル能ハサル場合ニ限り味噌十九匁生野菜二十二匁ニ
 換ヘ鹽魚肉二十七匁ヲ給スルコトヲ得
 第二號書式(乙)被服物品第一種消耗品交付請求書ヲ附表ノ如ク改ム
 第二號ノ二書式交付證中「麻襟」ヲ「折メス紐」ニ改メ注意書中「麻襟」ヲ削ル
 本達ハ大正八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
 製式ヲ變更シタル被服物品及書式ヲ變更シタル用紙ハ貯藏品ノ在ル限り之ヲ混用スルコ
 トヲ得

附 則

大正十一年
九月二十日
本号



達第百六十九號

海軍警吏補、海軍准教員採用規則左ノ通定ム

大正八年十月十三日

海軍大臣 加藤友三郎

海軍警吏補、海軍准教員採用規則

第一條 海軍警吏補ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ採用ス

- 一 判任官以上ノ職ニ在リタル者又ハ判任官タル資格ヲ有スル者
- 二 現役ヲ退キタル海陸軍准士官下士、歸休ノ海軍下士又ハ海陸軍下士タリシ者
- 三 海軍警査又ハ海軍監獄看守ノ職ニ在リタル者
- 四 巡査簿勤證書ヲ有スル者
- 五 二年以上巡査ノ職ニ在リテ退職後五年ヲ經過セザル者
- 六 陸軍兵卒ニシテ現役滿期ト爲リ又ハ戰時召集ヲ解除セラレ下士適任證書ヲ有スル者

百八十二

海軍

第二條 海軍准教員ハ教員免許狀ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ採用ス

附 則

本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際ニ限リ現ニ臨時南洋群島防備隊警吏ノ職ニ在ル者ハ海軍警吏補ニ、教員ノ

職ニ在ル者ハ海軍准教員ニ採用スルコトヲ得

1812

達第百七十號

海軍無線電報取扱規約附表第一海軍艦(船)名及海軍無線電信所名略符號ノ第一等艦艇
ノ部中麥風ノ次ニ左ノ通追加ス

大正八年十月十三日

海軍大臣 加藤友三郎

J V H 海 風

百八十三

海 軍

1813

陸軍第七十一號

海軍工廠處務細則中左ノ通改正ス

大正八年十月十八日

海軍大臣 加藤友三郎

第九條購買課ノ部第一號中「造兵造艦用材料物件」ノ上ニ「兵器及器具」ヲ加フ

百八十四

海軍

1814

達第百七十二號

海軍給與令施行細則中左ノ通改正ス

大正八年十月二十日

海軍大臣 加藤友三郎

第四十一條中「善行章ヲ有スル豫備役、後備役ノ下士卒並善行章又ハ特技章ヲ有スル歸休下士歸休兵」ヨ「善行章又ハ特技章ヲ有スル豫備役後備役ノ下士卒及歸休下士歸休兵」ニ改ム

附 則

本達ハ大正八年九月二十六日ヨリ之ヲ適用ス

參照 第四十一條 下士ヨリ准士官ニ任用セラレタルトキハ辭令ノ日ノ前日迄、下士卒豫備役、後備役、免官若ハ免役ト爲リ又ハ歸休ヲ命ゼラレタルトキハ退團ノ日迄、善行章ヲ有スル豫備役、後備役ノ下士卒並善行章又ハ特技章ヲ有スル歸休下士歸休兵召集セラレタルトキハ入團ノ日ヨリ退團ノ日迄其ノ加算ヲ支給ス



百八十五

海 軍

達第百七十三號

海軍技手養成所規則中左ノ通改正ス

大正八年十月二十日

海軍大臣 加藤友三郎

第十八條中「數學(算術)、代數初歩(「ヲ」數學(算術)、代數、幾何)」ニ改ム

1815

達第百七十四號

軍備補充費ヲ以テ横須賀海軍工廠ニ於テ本年度建造ニ著手スヘキ第七號特務船ニ左ノ通
命名ス

大正八年十月二十一日

海軍大臣 加藤友三郎

カ

ク

百八十六

海軍

1816

達第百七十五號

雇員備人給與規則中左ノ通改正ス

大正八年十月二十二日

海軍大臣 加藤友三郎

第二條第二項ヲ左ノ如ク改ム

公暇日 終合ニ依ル休、
暇日ヲ含ム 忌服又ハ傳染病豫防法ノ施行ニ依リ引籠中ノ日數及徵兵検査又ハ
簡閱點呼ニ參會ノ當日並公務ニ起因スル傷痍疾病ノ爲引入中ノ日數ハ勤務現日數ニ計
算ス

第七條 月給ノ雇員ニシテ陸海軍ノ召集ニ應シタルトキハ缺勤ノ日ヨリ出勤ノ前日迄給
與ノ支給ヲ停止ス

第七條ノ二 雇員備人ニシテ演習召集ニ應シ陸海軍ニ於テ給料ヨリ少額ナル俸給ヲ受ク
ルトキハ其ノ間勤務現日數ニ計算シ陸軍へ應召ノ者ニ在リテハ召集俸、海軍へ應召ノ
者ニ在リテハ在職俸又ハ員外俸ノ全額ト雇員備人給トヲ對比シ其ノ不足額ヲ支給スル

百八十七

海軍

コトヲ得

附 則

本達ハ大正八年九月二十六日ヨリ之ヲ適用ス

1817

達第百七十六號

海軍工務規則中左ノ通改正ス

大正八年十月二十二日

海軍大臣 加藤友三郎

第四十三條中「十分ノ一若ハ拾錢」ヲ「十分ノ二若ハ貳拾錢」ニ改ム

第四十六條ノ二 職工陸海軍ノ演習召集ニ應シ陸海軍ヨリ俸給ノ支給ヲ受クル間又ハ徵

兵検査若ハ簡閱點呼ニ參會ノ當日ハ出業シタルモノト看做シ徵兵検査又ハ簡閱點呼ニ

參會ノ當日ハ賃錢全額ヲ支給シ演習召集ニ應召中ハ陸海軍ヨリ受クル俸給額カ賃錢額

ヨリ寡少ナルトキニ限り莫ノ俸給(召參時、在職俸若ハ)ニ對スル不足額ヲ支給スルコトヲ

得

附 則

本達ハ大正八年九月二十六日ヨリ之ヲ適用ス

百八十八

海 軍

1818

達第百七十七號

艦船造修試験検査規則中左ノ通改正ス

大正八年十月二十四日

海軍大臣 加藤友三郎

第四十七條 「艦船裝載ノ短艇(艦船本館)ヲ増備「ノ次ニ」補充「ヲ加フ

百八十九

海軍

1819

達第百七十八號

第一、第二及第三艦隊所屬艦船經費整理手續中左ノ通改正ス

大正八年十月二十五日

海軍大臣 加藤友三郎

第一、第二及第三艦隊所屬艦船經費整理手續ヲ艦隊所屬艦船經費整理手續ニ改ム

第一條 本手續ニ於テ艦隊ト稱スルハ第一、第二、第三及練習艦隊ヲ謂フ

第一條ノ二 艦隊所屬艦船ノ仕拂ニ屬スル經費ハ海軍省經理局ノ所掌トシ經理局員一名

ヲ主任出納官吏トシ各經理部課員一名各要港部主計長及各艦船主計長ヲ分任出納官吏トス

附 則

本達ハ大正八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

達第百七十九號

百九十

海 軍

歳入歳出取扱規程中左ノ通改正ス

大正八年十月二十五日

海軍大臣 加藤友三郎

別表委任仕拂命令官並經費取扱區分表中海軍省經理局長ノ欄、經理局ノ項及同海軍經理部長ノ欄、艦團部隊ノ項「第一、第二、第三艦隊」ヲ「第一、第二、第三及練習艦隊」ニ改ム

附 則

本達ハ大正八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

1820

達第百八十號

海軍給與令施行細則中左ノ邊改正ス

大正八年十月二十五日

海軍大臣 加藤友三郎

第十五條中括弧内第一、第二及第三條除「ヲ」第一、第二、第三及練習艦隊「ニ改ム

附 則

本達ハ大正八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

百九十一

海 軍

1821

達第百八十一號

海軍治療品經理規程中左ノ通改正ス

大正八年十月三十日

海軍大臣 加藤友三郎

第二十四條中「前年度治療品殘高報告書」ヲ「前年度治療品供給及殘高報告書」ニ改ム
甲第一號表中「拔齒器、顯微鏡、ニスマンク氏驅血帶」ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

拔齒器	器具	第三條備置ニハ之ヲ備ヘム
顯微鏡	同	各軍艦(海軍治療室)有スル軍艦ヲ除ク海兵團、兵學校、機關學校、砲術學校、水雷學校、海軍砲隊及鐵甲所所在地ノ防衛隊ニ各一具ヲ備フ
ニスマンク氏驅血帶	同	必要ニ際シ一個ヲ備フ

同表中「洗眼受器」ノ定員千一人以上ノ定數「一」ヲ「二」ニ改ム

同表中「尿道注射器」ノ欄ヲ削ル

同表中「拔栓子」ノ次ニ左ノ欄ヲ加フ

陶製液量器	同	二	二	二	二	二	二	二
-------	---	---	---	---	---	---	---	---

甲第三號表中「繙帶小包」ノ欄ヲ削ル

同表中「ガム指袋」ノ次ニ「繙帶小包甲」「繙帶小包乙」「ゴム管」ノ次ニ「ゴム指袋」「陶尿器」ノ次ニ「尿道注射器」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

繙帶小包甲	同	一〇	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五	五〇	六〇	
繙帶小包乙	同	繙帶具袋一具ニ付四個ノ割ヲ以テ年額トス										
ゴム指袋	個	三	三	四	四	五	五	六	六	七	一〇	
尿道注射器	同	六	八	一〇	一二	一四	一六	一八	二〇	二二	二五	

同表中「陶尿器」ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

陶尿器	同	一	一	二	二	二	三	三	三	三	四
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

百九十二

海軍

1822

同表備考欄中「ハ製式ヲ甲乙ニ様々ス」ヲ削リ「ゴム引巾袋」ヲ「防水布製袋」ニ、「乙ハ」ヲ「繃帶小包乙ハ」ニ改ム

甲第四號表中「石油」ノ次ニ左ノ欄ヲ加フ

木 炭 貫 必要ニ際シ備フ

甲第五號表中「アンチピリン」ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

×アンチピリン	同	七五	二二五	一七五	二〇〇	二五〇	三〇〇	三三〇	三七五	四一五	四五〇	二五
---------	---	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

同表中「熔製硝酸銀」ノ次ニ「アスピリン」、「サントニン」ノ次ニ「藥用石鹼」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

×アスピリン	同	七五	一〇〇	二五〇	二〇〇	二五〇	二七五	三二五	三七五	四〇〇	四三〇	二五
×藥用石鹼	同	三二五	三二五	三二五	四〇〇	四〇〇	四五〇	六七五	六七五	六七五	九〇〇	三二五

同表中「注射用ストリキニ：ネ錠」ノ欄ヲ削ル

百九十三

海軍

乙第一號表中「尿道注射器」ノ欄ヲ削ル

乙第三號表中「繃帶小包」ノ欄ヲ削ル

同表中「精製ガーゼ」ノ次ニ「繃帶小包甲」、「繃帶小包乙」、「ゴム管」ノ次ニ「ゴム指套」、「陶尿器」ノ次ニ「尿道注射器」、「西洋手拭」ノ次ニ「炭化カルテウム」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

繃帶小包甲	個		一〇〇		一〇〇		七〇		二〇〇
繃帶小包乙	同		五〇		五〇		三〇		五〇
ゴム指套	個		二五		二五		二〇		二五
尿道注射器	同		一五		二〇		一五		二〇
炭化カルテウム	瓦	四五〇		四五〇		四五〇		四五〇	四五〇

同表中馬公要港部ノ年額欄中頓服藥蓋「八」ヲ「二」ニ、硝子吐痰器「七」ヲ「二」ニ、木綿「二〇〇」ヲ「三五〇」ニ、綿衣「四、〇〇〇」ヲ「六、〇〇〇」ニ、精製綿「八、五〇〇」ヲ「一〇、〇〇〇」ニ、精製ガーゼ「四〇〇〇」ヲ「六、〇〇〇」ニ、綿ソラキヤ「七〇」ヲ「一二〇」ニ、木綿

合針「二〇」ヲ「四〇」ニ、氷塞「七〇」ヲ「一〇〇」ニ、防水紙「一〇〇」ヲ「二二〇」ニ、
 管「三〇」ヲ「四五」ニ、外用筆「八〇」ヲ「一〇〇」ニ、刺紙「六、〇〇〇」ヲ「一〇、〇〇〇」ニ、
 薬用瓶「七〇」ヲ「一二〇」ニ、ヨルク「三〇〇」ヲ「四〇〇」ニ、答藥室「四〇」ヲ「六〇」ニ、丸
 劑盒「五〇」ヲ「八〇」ニ、薬用瓶札「九〇〇」ヲ「一二〇〇」ニ、石鹼「一〇〇」ヲ「二二〇」ニ、
 消毒用刷毛「一〇」ヲ「一五」ニ改ム
 同表中大湊要港部年額欄中ゴム管「二〇」ヲ「三〇」ニ、刺紙「五、〇〇〇」ヲ「七、〇〇〇」ニ、
 石鹼「八〇」ヲ「一〇〇」ニ改ム

乙第四號表中「洋燈圓心」ノ次ニ「マツチ」、「墨紙」ノ次ニ「固形バラフィン」、「硝子用鉛筆」
 ノ次ニ「氷」、「牛肉」ノ次ニ「牛肉越幾斯」、「牛乳」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

マツチ	箱	一二〇
固形バラフィン	瓦	四五〇
氷	斤	必要ニ際シ備フ
牛肉越幾斯	瓦	一二二

百九十四

海軍

牛乳 必要ニ際シ備フ

乙第五號表中「サリチール酸」ノ次ニ「硫酸」、「サリチール酸汞」ノ次ニ「硫酸汞」、「ヨード
 カリウム」ノ次ニ「過マンガン酸カリウム」、「サントニン」ノ次ニ「薬用石鹼」ノ欄ヲ左ノ如
 ク加フ

硫 酸	同	二、二五〇	二、二五〇	二、二五〇	二、二五〇	四五〇
硫 酸 汞	同	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五
過マンガン酸カリウム	同	七五	七五	五〇	七五	二五
薬 用 石 鹼	同	九〇〇	九〇〇	六七五	九〇〇	二二五

同表中「重クロム酸カリウム」ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

重クロム酸カリウム	同	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	四五〇
-----------	---	-------	-------	-------	-------	-----

同表中馬公要港部年額欄中硼酸「四、五〇〇」ヲ「九、〇〇〇」ニ、希鹽酸「二、二五〇」ヲ「四、

○五〇「ニ、」サリチール酸「四五〇」ヲ「七〇〇」ニ、明礬「九〇〇」ヲ「一、三五〇」ニ、蒸餾
 水「一八、〇〇〇」ヲ「二、五〇〇」ニ、「マヌビリン」三〇〇「ヲ」五五〇「ニ、安息香酸ナト
 リウムカンフェイン」二五〇「ヲ」五〇〇「ニ、膠漆」四〇〇「ヲ」八〇〇「ニ、」コンニアク「三、九〇
 〇」ヲ「五、二〇〇」ニ、「チアムスターゼ」三〇〇「ヲ」三三〇「ニ、」チギタミン「四五」ヲ「六〇」
 ニ、「ゴム絆創膏」七五「ヲ」九六「ニ、麵麥粉」五、四〇〇「ヲ」九、〇〇〇「ニ、」ウワウルシ
 莖「九〇〇」ヲ「一、三五〇」ニ、昇汞「四五〇」ヲ「九〇〇」ニ、「イヒチオール」四五〇「ヲ」九
 〇〇「ニ、硫酸マグネシウム」九、九〇〇「ヲ」一八、〇〇〇「ニ、重碳酸ナトリウム」一三、五
 〇〇「ヲ」二二、五〇〇「ニ、」サリチール酸ナトリウム「三、六〇〇」ヲ「四、五〇〇」ニ、蓖麻
 子油「二、七〇〇」ヲ「四、五〇〇」ニ、醋酸鉛「一、三五〇」ヲ「一、八〇〇」ニ、「サロール」四
 五〇「ヲ」七〇〇「ニ、」サントニン「二八」ヲ「三六」ニ、酒精「一八、〇〇〇」ヲ「三一、五〇〇」
 ニ、燃料酒精「二二、五〇〇」ヲ「四〇、〇〇〇」ニ、苦味丁酸「一五、三〇〇」ヲ「二四、三〇〇」
 ニ、「ヨード丁酸」一、二二五「ヲ」一、八〇〇「ニ、酸化亜鉛」五〇〇「ヲ」八〇〇「ニ改ム
 同表中大湊要港部年額欄中蒸餾水「二、六〇〇」ヲ「一八、〇〇〇」ニ、安息香酸ナトリウ

百九十五

海軍

ムカンフェイン「二五」ヲ「五〇」ニ、「チギタミン」四五「ヲ」六〇「ニ、」グリセリン「二四、五〇
 〇」ヲ「五、四〇〇」ニ、「ヨードカリウム」八、一〇〇「ヲ」四、五〇〇「ニ、」サリチール酸ナ
 トリウム「二、七〇〇」ヲ「三、六〇〇」ニ、燃料酒精「二〇、二五〇」ヲ「二七、〇〇〇」ニ改ム
 同表中「炭化カルチウム」及「注射用ストリキニーネ錠」ノ欄ヲ削ル
 乙第七號表中「丁子油」ヲ「丁香油」ニ改ム
 丙第一號表中「檢耳鏡」ノ次ニ「耳用卷綿子」、「鼻用卷綿子」、「咽喉用卷綿子」、「耳鼻用綿
 子」、「拔栓子」ノ次ニ「陶製液量器」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

耳用卷綿子	個	二
鼻用卷綿子	同	二
咽喉用卷綿子	同	一
耳鼻用綿子	同	一
陶製液量器	同	一

同表中「尿道注射器」ノ欄ヲ削ル

丙第二號表中「繙帶小包」ヲ「繙帶小包乙」ニ改ム

同表中「陶尿器」ノ次ニ「尿道注射器」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

尿道注射器	同	三
-------	---	---

同表備考欄中「但シ繙帶小包ハ乙種製式ノモノトス」ヲ削ル

丙第三號表中「アンチピリン錠」ノ次ニ「アスピリン錠」、「醋酸鉛」ノ次ニ「プロタルゴール」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

アスピリン錠	同	五〇	一〇
プロタルゴール	同	五〇	二五

丁第一號表中「顕微鏡」ノ次ニ「身體検査用檢眼レンズ」、「抜塗子」ノ次ニ「陶製液量器」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

身體検査用檢眼レンズ	同	一	一	一	一	一	一	一
陶製液量器	同	二	二	二	二	二	二	二

同表中「尿道注射器」ノ欄ヲ削ル

丁第二號表中「繙帶小包」ヲ「繙帶小包甲」ニ改ム

同表中「陶尿器」ノ次ニ「尿道注射器」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

尿道注射器	同	二	三	二	二	二	二	二
-------	---	---	---	---	---	---	---	---

同表備考欄中「但シ繙帶小包ハ甲種製式ノモノトス」ヲ削ル

丁第三號表中「熔製硝酸銀」ノ次ニ「アスピリン」、「鹽化アドリナリン液」ノ次ニ「過酸化水素液」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

アスピリン	同	一〇〇	八〇〇	一三〇	一〇〇	五〇	三〇	三〇
過酸化水素液	同	三三〇	一五〇	三三〇	一七〇	一四〇	一三〇	三三

同表中「硼酸」、「マンチピリン」、「コム絆創膏」、「酒精」、「ヨロイ丁幾」ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

硼酸	瓦	九,000	三,500	五,000	五,000	二,000	一,000	三,500
マンチピリン	同	三,000	五,000	一,500	一,000	五,000	三,500	三,500
コム絆創膏	尺	二〇〇	二〇〇	七	六	三	三	三
酒	同	二,三〇〇	三,〇〇〇	八,〇〇〇	五,〇〇〇	二,三〇〇	一,〇〇〇	五,〇〇〇
ヨロイ丁幾	同	五,五〇〇	二,二〇〇	三,五〇〇	二,〇〇〇	一,五〇〇	六〇〇	三,五〇〇

同表中「注射用ストリキニーネ錠」ノ欄ヲ削ル
 戊第一號表中「鑷子」ノ次ニ「有鉤鑷子」、「手術用腰掛」ノ次ニ「齒科用椅子」、「齒科用旋盤」、「旋盤用手柄」、「齒科用鑷子」、「滴藥水銃」、「齒科用セメント練盤」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

有 鉤 鑷 子 同 一〇

百九十七 海 軍

齒科用椅子	具	一
齒科用旋盤	同	一
旋盤用手柄	個	三
齒科用鑷子	同	三
滴藥水銃	同	二
齒科用セメント練盤	同	一

同表中「尿道注射器」ノ欄ヲ削ル
 戊第四號表中「繙帶小包」ヲ「繙帶小包甲」ニ改ム
 同表中「陶尿器」ノ次ニ「尿道注射器」、「サンダラツタニス」ノ次ニ「旋盤用鑷子」、「旋盤用保軸子」、「旋盤用輪子」、「旋盤用砥子」、「旋盤用刷毛」、「充填用ギム」、「齒科用アマムガム」、「義齒」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

尿道注射器 同
 旋盤用鑷子 個

旋盤用保軸子	同
旋盤用輪子	同
旋盤用砥子	同
旋盤用刷毛	同
充填用ゴム	箱
齒科用アマルガム	瓦
鏡	齒
	個

庚第八號表及庚第九號表中「繙帶小包」ヲ「繙帶小包甲」ニ改メ「甲種製式」ヲ削ル

庚第十四號表中「尿道注射器」ノ欄ヲ削リ「藥飲蓋」ノ次ニ「尿道注射器」ノ欄ヲ左ノ如ク加

フ

尿道注射器	同
	一

庚第十五號表中「尿道注射器」ノ欄ヲ削リ「藥飲蓋」ノ次ニ「尿道注射器」ノ欄ヲ左ノ如ク加

百九十八

海軍

フ

尿道注射器	同
	二

庚第十六號表中「繙帶小包」ノ欄ヲ削リ「ガーゼ小包」ノ次ニ「繙帶小包甲」、「繙帶小包乙」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

繙帶小包甲	同
繙帶小包乙	同
	二
	四

同表中「備考」ノ欄ヲ削ル

庚第十九號表中「耳鼻用卷綿子」ノ欄ヲ削リ「尺帯」ノ次ニ「耳用卷綿子」、「鼻用卷綿子」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

耳用卷綿子	同
鼻用卷綿子	同
	一
	一

辛號表中「アンチピリン錠」ノ次ニ「アスピリン錠」ノ欄ヲ左ノ如ク加フ

アスピリン錠 本品一個ハ「アスピリン〇、五」ヨリ成ル

同表中「注射用ストリキニーネ錠」ノ欄ヲ削ル

第二號書式中「治療品發賣報告書」ヲ「治療品供給及發賣報告書」ニシテ「治療品發賣書」面ノ通

ニ候也「ヲ」治療品供給及發賣書面ノ通ニ候也「ニ」改ム

同書式中「單價」ト「發賣」トノ間ニ「供給」ノ一欄ヲ加フ

附 則

本達ハ大正八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

百九十九

海 軍

1829

達第百八十二號

大正六年達第四十六號別表中左ノ逕改正ス

大正八年十月三十日

海軍大臣 加藤友三郎

「陸色検査表」ヲ削リ「陸軍色種検査表」ヲ加シ「海軍色種検査表」ヲ加シ

二百

海軍

1830

大正九年達
第百八十三號
別ノ多クモ
廢止

達第百八十三號

判任官以下ノ者ノ臨時手當ハ大正八年四月達第六十七號臨時手當支給規則第一條ノ規定ニ依ラス俸給、給料又ハ報酬金支給額ニ付左ノ區別ニ從ヒ毎月之ヲ支給ス

大正八年十月三十日

海軍大臣 加藤友三郎

一、准士官、判任文官

俸給月額五十五圓ヲ超ユル者

俸給十分ノ五

但シ俸給ト合シテ月額九十圓ヲ下ラサル額

俸給月額五十五圓以下ノ者

俸給十分ノ七

但シ俸給ト合シテ月額九十圓ヲ超ニルヲ得ス

二、下士卒、判任官待遇者

俸給十分ノ七

三、雇員備人

給料月額 日給三十日分 五十五圓ヲ超ニル者

給料十分ノ五

二百一 海軍

但シ給料ト合シテ月給者ハ月額九十圓、日給者ハ日額三圓ヲ下ラサル額

給料月額 日給三十日分 五十五圓以下ノ者

給料十分ノ七

但シ給料ト合シテ月給者ハ月額九十圓、日給者ハ日額三圓ヲ超ニルヲ得ス

四、判任官以下ノ待遇ヲ受ケル應託員

報酬金支給額ニ付雇員備人ノ區別ニ依ル

附 則

本達ハ大正八年十月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス